



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月9日

上場会社名 アキレス株式会社

上場取引所 東

コード番号 5142 URL <http://www.achilles.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中田 寛

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理本部長

(氏名) 藤澤 稔

TEL 03-5540-9848

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	60,488	△7.3	1,145	△37.9	1,369	△35.0	267	△75.3
23年3月期第3四半期	65,284	0.7	1,843	2.3	2,106	5.6	1,085	67.7

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 43百万円 (△88.4%) 23年3月期第3四半期 372百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	1.42	—
23年3月期第3四半期	5.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	71,845	39,190	54.5
23年3月期	73,813	39,715	53.8

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 39,190百万円 23年3月期 39,715百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
24年3月期	—	0.00	—		
24年3月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,000	△5.5	1,200	△52.1	1,450	△47.4	0	△100.0	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	195,627,147 株	23年3月期	195,627,147 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	6,681,192 株	23年3月期	6,670,060 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	188,951,956 株	23年3月期3Q	188,972,266 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を行っております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における事業環境は、東日本大震災からの一日も早い復旧・復興が急がれる中、タイ国での洪水被害は多くの産業への生産活動に影響をおよぼしました。また、欧州の財政赤字問題による信用不安、米国経済の回復力の脆弱さもあいまって「円」の高止まりと株安傾向は長期化し、さらに原発問題、雇用不安、消費低迷、原油高を背景に先行きを見通せない状況が続きました。

このような事業環境下、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高 60,488 百万円(前年同四半期比 7.3%減)、営業利益 1,145 百万円(前年同四半期比 37.9%減)、経常利益 1,369 百万円(前年同四半期比 35.0%減)、四半期純利益 267 百万円(前年同四半期比 75.3%減)となりました。

<シューズ事業>

シューズ事業は、小売価格の低価格化と競争激化の中、「エコー」の契約終了もあって前年売上を下回りました。その中であって、ジャパニーズ・コンフォート・シューズ「アキレス・ソルボ」は、靴専門店、百貨店を中心に順調に売場構築が進み、前年売上を上回りました。またジュニアスポーツ「瞬足」シリーズは、女兒向けダンス用シューズ瞬足ダンスによる新市場への投入が注目され、ジュニアスポーツのトップブランドとしての地位を確保しております。「スケッチャーズ」は、健康・美容志向の高まりの中で、特殊な鞋底形状によって美しい身体づくりに役立つトーニングシューズのシェイプアップスを中心に拡大を図りましたが、競争激化と、マーケットの縮小によって前年売上を下回りました。

シューズ事業の当第3四半期連結累計期間の業績は売上高 14,949 百万円(前年同四半期比 9.6%減)、セグメント利益(営業利益)は 958 百万円(前年同四半期比 19.1%減)となりました。

<プラスチック事業>

レザー及び合成皮革を中心とする車輦内装用資材は、震災以降車の生産台数の回復傾向は見られましたが、生産計画に沿うほどの受注は伸びず、前年売上を大きく下回りました。

フィルムは、景気減速の影響による電子材料用の不振で前年売上を下回りました。農業資材分野は、地域戦略が功を奏し前年売上を上回りました。

建装資材の床材・壁材は、第2四半期の住宅着工戸数の増加及び、ホームセンター向け床材の需要増がありましたが、後半の失速により前年売上を若干下回りました。

引布は、エアータントとボートが震災対策品として、さらにタイ国の洪水対策品としての受注があり前年売上を上回りました。

プラスチック事業の当第3四半期連結累計期間の業績は売上高 25,235 百万円(前年同四半期比 9.2%減)、セグメント利益(営業利益)は 649 百万円(前年同四半期比 12.6%減)となりました。

<産業資材事業>

ウレタンは、長引く消費低迷の中、車輦用での一部回復の兆しと、インテリア・日用品関連では、節電・環境を意識した素材群と製品が市場で評価され、前年売上を確保しました。

断熱資材は、鉄筋コンクリート造建築向け市場の回復や震災の仮設住宅向けの需要などにより、ボード製品とシステム製品の拡販が図れ前年売上を上回りました。また、中間素材であるスチレン製品及び畜産飼育施設用パネル製品についても、前年売上を上回りました。

静電気対策品は、電子部品業界の円高等の影響による海外生産、海外部品調達の増加や業界再編の影響を受け、前年売上を大きく下回りました。大型R I M成形品は、医療機器向けの市場拡大に支えられ、前年売上を上回りました。

衝撃吸収材は、スポーツ向け及び通販向けで安価な輸入商品の影響を受け、主力のインソール、サポーター商品で苦戦し、前年売上を下回りました。

産業資材事業の当第3四半期連結累計期間の業績は売上高 20,302 百万円(前年同四半期比 3.1%減)、セグメント利益(営業利益)は 1,402 百万円(前年同四半期比 17.9%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は 71,845 百万円で前連結会計年度末に比較して 1,968 百万円減少いたしました。

資産の部では、流動資産は 44,988 百万円となり前連結会計年度末に比較して 1,834 百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が 2,026 百万円減少したことによります。固定資産は 26,856 百万円となり前連結会計年度末に比較して 133 百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が 822 百万円増加しましたが、投資その他の資産が 936 百万円減少したことによります。

負債の部では、流動負債は 23,194 百万円となり前連結会計年度末に比較して 1,190 百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が 680 百万円、未払金が 508 百万円それぞれ減少したことによります。固定負債は 9,460 百万円となり前連結会計年度末に比較して 252 百万円減少いたしました。

純資産の部は、前連結会計年度末に比較して 525 百万円減少の 39,190 百万円となりました。これは主に、利益剰余金が 298 百万円、為替換算調整勘定が 213 百万円減少したことによります。以上の結果、自己資本比率は 54.5%となり前連結会計年度末に比べ 0.7%好転いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成 23 年 5 月 13 日に公表いたしました通期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(平成 24 年 2 月 9 日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,546	5,520
受取手形及び売掛金	26,585	26,076
商品及び製品	7,643	7,923
仕掛品	1,246	1,369
原材料及び貯蔵品	1,874	2,042
繰延税金資産	1,191	1,150
為替予約	53	—
その他	817	1,054
貸倒引当金	△136	△148
流動資産合計	46,823	44,988
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,580	7,827
機械装置及び運搬具（純額）	4,607	4,978
土地	5,307	5,303
建設仮勘定	555	830
その他（純額）	503	436
有形固定資産合計	18,554	19,376
無形固定資産		
	585	566
投資その他の資産		
投資有価証券	2,610	2,497
繰延税金資産	3,558	3,110
その他	1,769	1,393
貸倒引当金	△88	△87
投資その他の資産合計	7,849	6,913
固定資産合計	26,989	26,856
資産合計	73,813	71,845

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,024	14,246
短期借入金	2,269	2,226
未払金	3,743	3,234
未払法人税等	849	169
為替予約	—	86
P C B廃棄物処理引当金	13	—
その他	3,483	3,230
流動負債合計	24,384	23,194
固定負債		
長期借入金	3,000	3,000
長期未払金	116	112
繰延税金負債	130	109
退職給付引当金	6,176	5,962
資産除去債務	210	196
P C B廃棄物処理引当金	79	79
固定負債合計	9,713	9,460
負債合計	34,098	32,654
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,640	14,640
資本剰余金	11,374	11,373
利益剰余金	15,609	15,310
自己株式	△941	△942
株主資本合計	40,683	40,382
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	325	398
繰延ヘッジ損益	32	△52
為替換算調整勘定	△1,325	△1,538
その他の包括利益累計額合計	△967	△1,192
純資産合計	39,715	39,190
負債純資産合計	73,813	71,845

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	65,284	60,488
売上原価	51,514	47,848
売上総利益	13,769	12,639
販売費及び一般管理費	11,925	11,493
営業利益	1,843	1,145
営業外収益		
受取利息及び配当金	78	98
その他	300	258
営業外収益合計	378	356
営業外費用		
支払利息	75	43
その他	39	88
営業外費用合計	114	131
経常利益	2,106	1,369
特別利益		
固定資産売却益	41	2
国庫補助金	0	5
保険差益	—	23
投資有価証券売却益	—	0
関係会社株式売却益	80	—
貸倒引当金戻入額	123	—
特別利益合計	246	32
特別損失		
固定資産除却損	119	84
投資有価証券評価損	1	233
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	198	—
特別損失合計	319	317
税金等調整前四半期純利益	2,033	1,083
法人税、住民税及び事業税	662	313
法人税等調整額	285	502
法人税等合計	948	815
少数株主損益調整前四半期純利益	1,085	267
四半期純利益	1,085	267

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,085	267
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△60	72
繰延ヘッジ損益	△266	△84
為替換算調整勘定	△352	△204
持分法適用会社に対する持分相当額	△33	△9
その他の包括利益合計	△713	△224
四半期包括利益	372	43
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	372	43
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	16,543	27,781	20,959	65,284	—	65,284
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	120	567	687	△687	—
計	16,543	27,901	21,527	65,972	△687	65,284
セグメント利益	1,185	743	1,708	3,636	△1,793	1,843

(注)1. セグメント利益の調整額△1,793百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用（一般管理費）であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	14,949	25,235	20,302	60,488	—	60,488
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	147	372	519	△519	—
計	14,949	25,383	20,674	61,007	△519	60,488
セグメント利益	958	649	1,402	3,010	△1,865	1,145

(注)1. セグメント利益の調整額△1,865百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用（一般管理費）であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。